

# 地方公共団体金融機構 第32回経営審議委員会会議録

## 1 開会の日時及び場所

### (1) 開会の日時

令和2年2月28日（金） 15時～16時

### (2) 場所

地方公共団体金融機構 第一特別会議室

## 2 出席委員の氏名

委員 三谷 隆博

〃 鈴木 豊

〃 勢一 智子

〃 米田 保晴

〃 玉沖 仁美

〃 上崎 正則

## 3 議事の概要

別紙のとおり

以上

地方公共団体金融機構

経営審議委員会委員長 三谷 隆博

## （別紙）議事の概要

### 1 開会

委員長（挨拶）

理事長（挨拶）

### 2 議事

#### （1）令和２年度事業計画、令和２年度予算

事務局（議案１、議案２及び資料の内容を説明、報告事項について報告）

委員長 議案等について質問はないか。

委員 技術的な問題について詳細に検討を経た上で、実際にグリーンボンドを発行したことも評価する。特に海外投資家を対象にしたＩＲは大変だったと思うが、グリーンボンドは今後益々発展していく市場であることから、今回発行した経験を踏まえ、引き続きグリーンボンドの発行に努めていただきたい。

委員 良い条件でグリーンボンドを発行し、素晴らしい成果と認識している。今回の発行による海外の反響を見ても分かるとおおり、国外債でグリーンボンドを発行したことは正しい方向性だと思う。

委員 海外市場におけるＥＳＧｓ投資の潮流は、日本にも影響が広がっており、機構の貸付先である地方公共団体の事業がＳＤＧｓに合致していることをしっかりと情報発信していただきたい。

委員 地方支援業務の調査研究について、幅広く地方財政や地方債に関する機関と連携する方向性を打ち出されているが、相乗効果が発揮される取組みであり、非常に心強く思っている。地方において、地方財政等に知見のある人材がいることは非常に重要であり、地方の組織等との連携も考えていただきたい。

委員 人口減少が進む地方において専門人材を確保することが難しくなっている中、財政や公営企業に詳しい人材を育成するためにも専門家派遣を拡充することは非常に大事なことだと思う。

委員 森林環境譲与税の譲与額の増額のため、公庫債権金利変動準備金を国に帰属させることは、災害防止・国土保全機能強化等の観点から非常に良い取組だと思う。地方公共団体には森林整備などを一層推進していただくことが大事。地方

共同法人である機構が、地方公共団体の森林整備の推進を応援していることを地方公共団体に認識いただくことが大事。

委員 地方支援業務等を通して、地方公共団体はどのような業務に一番関心を持っていると思うか。

事務局 例えば、先進事例検索システムでは、中長期の財政運営や公共施設の適正管理、公会計に関する事例が幅広く検索されている。

また、今年度実施した地方公共団体に対するアンケートでは、公共施設の適正管理や人口減少・高齢化対策、防災等に対して地方公共団体が課題意識を有していることが分かった。

同時に機構に期待する支援業務の内容を伺ったところ、公共施設の老朽化対策や財政分析・財政診断、資金調達等に対するニーズが高かった。

委員 過疎対策事業について、全事業を貸付対象に加えたことは地方公共団体から喜ばれることだと思う。

委員 従前、地方支援業務はセミナーや研修など、大規模な会場で実施する集合型のイメージがあった。近年、地方公共団体を直接支援する要素の強い専門家派遣や実務支援にも力を入れていただいております、地方公共団体にもしっかりと宣伝していただきたい。

委員長 森林環境譲与税の譲与額を前倒ししたことに伴い地方公共団体が実施した事業を、先進事例検索システムに掲載することは可能なのか。

理事長 森林環境譲与税の譲与額の前倒しに伴い実施される事業は今後本格化すると考えられ、優良事例として認識される事業が出てくれば先進事例検索システムに掲載することも考えてまいりたい。

委員 人口減少社会を迎え地方が疲弊していく中、行政に求められる最低水準を財政の面から保証するという地方財政制度の考え方が転換点を迎えつつあるのではないかと認識している。今後、どのように変わっていくのかに関心がある。

理事長 地方財政制度を考えるに当たっては、これからの新しい時代をどのように切り開いていくかという視点も大事だと思う。

委員長 最後に、委員会の意見書について、私の方で意見書案を作成したので、今から配付する。

（意見書（案）を配付）

委員長 このように意見を取りまとめたいが、いかがか。  
(異議なし)

委員長 意見書については、代表者会議で報告いただきたい。

### 3 閉会

委員長 議事を終了し、閉会する。

以上